

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)	事業実施計画期間	平成25年～平成29年度(5年間)																				
事業実施地区名 (都道府県名)	石狩空知森林計画区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 石狩森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本計画区は、北海道の中央部よりやや西寄りに位置する石狩空知森林計画区の国有林野212,436haである。</p> <p>この地域は、朝里岳(1,281m)、無意根山(1,464m)、漁岳(1,318m)、恵庭岳(1,320m)を主峰として、豊平川、千歳川、漁川等の集水域となっている山地で、トドマツ・エゾマツ・ミズナラ・カンパ類等が混交する天然林とトドマツ・アカエゾマツ等の人工林で構成されている定山溪・千歳地域と、日本海に面する海岸線から内陸に位置し、カンパ類・ミズナラ等を主とする広葉樹の天然林が多く、一部トドマツ・カラマツの人工林で構成されている浜益・厚田・当別・積丹地域からなる。</p> <p>これらの森林については、ほぼ全域が保安林となっており、札幌市をはじめとした都市圏の水源地として、また、基幹産業である農業の振興や漁場の保全に資する観点で重要な役割を担っていることから、水源かん養機能の発揮が求められている。また、森林や湖沼、海岸など自然美に富んだ景勝地が多く、支笏洞爺国立公園をはじめ、ニセコ積丹小樽海岸国立公園並びに野幌森林公園が道立自然公園に指定されていること等から、登山やスキー、森林散策などのレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>また、支笏洞爺国立公園や野幌森林公園道立自然公園の森林については、人工林を主体に、平成16年の台風18号により多大な風倒被害を受けたところであり、大部分の処理は終了したものの、森林の有する機能の発揮の観点から、その跡地の早期復旧が求められている。さらに、藻岩山や円山などの森林については、都市近郊の身近な自然として、その保全や森林とのふれあいに対する期待が高まっている。</p> <p>なお、これらの地域に所在する森林は、それ自体が炭素の貯蔵庫であり、適切な森林の整備及び保全とこれらを通じて供給される木材の有効利用を図ることが必要である。</p> <p>これらのことから、生活用水、農業用水等の水源のかん養、土砂の流出・斜面崩壊等の山地災害の防止、木材の安定的な供給等の地域から求められる国有林野への期待に十分に配慮した事業計画とする。</p> <p>また、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">217 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">23,216 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">104.0 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">1.8 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,765,266 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	217 ha			保育面積	23,216 ha		路網整備	開設延長	104.0 km			改良延長	1.8 km	総事業費			2,765,266 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	217 ha																				
		保育面積	23,216 ha																				
	路網整備	開設延長	104.0 km																				
		改良延長	1.8 km																				
総事業費			2,765,266 千円																				
費用対効果分析	総便益(B)	20,677,030 千円																					
	総費用(C)	4,711,639 千円																					
	分析結果(B/C)	4.39																					
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	必要性、有効性、効率性の観点から事業実施が妥当であると考えている。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規事業の採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能(特に水源かん養)に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

様式1

便 益 集 計 表  
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備  
施行箇所: 石狩空知森林計画区

都道府県名: 北海道  
(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,215,582	
	流域貯水便益	1,352,925	
	水質浄化便益	2,863,935	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,905,708	
環境保全便益	炭素固定便益	1,963,864	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	10,219	
	木材利用増進便益	7,443	
	木材生産確保・増進便益	1,273,453	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	1,191	
	治山経費縮減便益	170,202	
	森林管理等経費縮減便益	265,807	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	1,109,415	
維持管理費縮減便益		537,286	
総便益(B)		20,677,030	
総費用(C)		4,711,639	
費用便益比	$B \div C = \frac{20,677,030}{4,711,639} = 4.39$		

# 森林環境保全整備事業 石狩空知計画区(北海道) 事業概要図



対象計画区拡大図

